



あけまして

おめでとございませす

艶やかな着物に身を包んだ新山保育所の子どもたちが、は
しや<気持ちをおさえ、おしとやかにございさつ。「皆さん
はとつて良い年でありますようじ」(右から中野友莉ちゃん
小谷地萌々香ちゃん、小谷地利佳ちゃん)

広報

平成17年(2005)年
新年号

No.381



のた

新年のあいさつ

野田村長 中川正勝



大晦日の夕方から降り出した雪が、元旦の朝を白銀の世界に化粧した中で、白く輝かしい新年の幕が明けた。今年はどうな一年になるだろう。予測がつかないだけに、誰しもが希望の持てる年であって欲しいと祈りたい。

村民の皆様には、ご家族おそろいで新春をお迎えのことと存じ、初春を心よりお慶び申し上げます。昨年は、小春日和のような一年の始まりに猿起を担ぎ、今年こそはと思った年でありましたが、年の暮れには主役の猿が村内に出没して猿害を残り、去るものを濁しました。

今年の干支は「酉」。鶏は、黎明の時を一番に告げる太陽神の遣いといわれており、「易暦」では経済大躍進の年とでていいる。経済不況に加えて、洪水・地震の被害が世を暗くしている昨今を被って欲しいものである。

昨年を振り返って見ますと、村の産業面では、春先から記録的な高温と猛暑により、水稲が豊作となりましたが、秋口からの長雨により、秋もの野菜が質・量とも低調で店頭価格が高騰いたしました。一方、磯漁業の柱であるウニ漁

やアワビ漁の操業は、平年並みの回数でありましたが、アワビの一口単価が前年よりも二千元以上の高値となりました。

また、秋サケ漁においては、前半は前年の価格を上回ったものの、後半に価格が暴落するという状態で対前年を確保すれずという結果で終漁となりました。農業・漁業の一部で明るさがあったものの、全体的に見るとまだまだ厳しい環境にあります。

国、県、村の財政環境が一段と厳しさが増す現状から、公共事業の件数、額とも減少したことにより、従業員の自宅待機を決定した企業もあつたところであります。

こうした状況から村では緊急地域雇用創出特別基金事業を実施して、就労の場を提供したところであります。平成十五年から供用開始しました城内地区の公共下水道は、引き続き門前小路地区から明内地区に向かって管渠整備を実施し、生活環境の向上や自然環境の保全範囲を拡大させたところであります。

また、米田地区においては、五年計画の初年度として農業集落排水事業の管渠整備に着手いたしました

ところであります。

平成八年度から前期五年、後期五年で実施しております第三次野田村総合開発計画は、十六年度が後期計画の四年度目にあたり、大葛種綿間や上明内大葛間の道路改良を実施し、上明内大葛間が完了いたしました。

さらに玉川漁港の整備とトイレ建設のための設計、下安家地区における漁港漁村総合整備事業において漁港の整備をそれぞれ実施したほか、新山地区に村営住宅を建設するための用地を取得いたしました。

その他、福祉、生活、医療、スポーツ、教育、文化と村民の声や要望を広く村政全般に反映させたところであります。

また、県道野田山形線の横合落合地区の改良工事、玉川米田線と畑日形井線を県管中山間地域総合整備事業で、野田漁港の整備は県管事業でそれぞれ実施いたしました。

国の行財政改革を地方分権の推進にあると位置づけ、三位一体の改革の中で地方交付税の大幅な削減が実施されて五年目を迎えました。地方交付税の削減は、市町村財政を直撃し、これが市町村合併への動きとなりました。村では、懇

談会の開催やアンケートを実施し、その結果により普代村との任意合併協議会を設立しましたが、住民投

票の結果これを解散いたしました。

その後、久慈市・山形村合併協議会に加入しましたが、いろいろな背景の中で議決により、これから離脱することになりました。合併特例法の期限である今年三月までの合併は、事実上困難であると言わざるをえません。

現時点においては、当面、野田村は野田村として自立の道を歩む努力をしなければならないと思っております。

かつてなかった厳しい行財政環境の下で、徹底した歳出の削減を図り、効率的な財政運営を進めて参る覚悟であります。

市町村合併問題で二分、対立した住民間の感情の融和につとめるとともに、院長の急逝によって閉院している村唯一の診療施設の早期の再開もまた大きな課題の一つであると思っております。

村の発展と村民の健康を守るための施策を今年のテーマとして、粉骨碎身努力して参ることを年頭にあたりお誓い申し上げますとともに、村民の皆様には現状をご賢察のうえより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

村民皆様にとって今年一年が多幸で良き年でありましてご祈念申し上げます。年頭にあたりましてのご挨拶といたします。

村の年男・年女

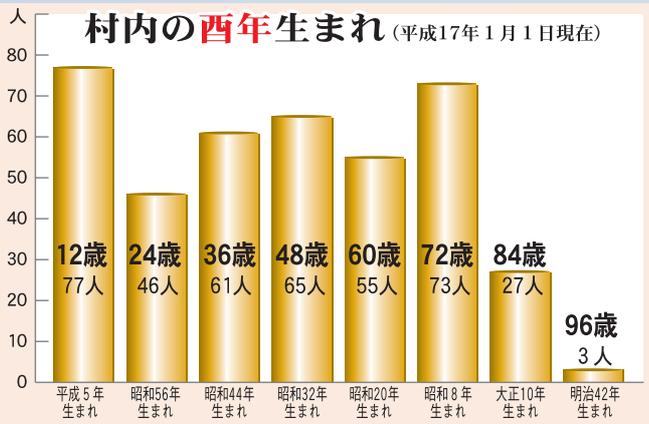
酉年の方たちを 紹介します



新年あけましておめでとうございます。2005年の酉年を迎え、誰もが「今年こそ！」という抱負や夢を持っていることでしょう。
平成十七年一月一日現在の村の人口は五千二百七十人。このうち酉年生まれの人々は四百七人です。ここでは新しい年を迎えた年男・年女の皆さんをご紹介します。

今年の干支は なじみ深い鶏

今年の干支である「酉」は、私たちと親しみの深い鶏のことです。この鶏は古くから人に飼われ、栄養を取りにくかった時代には滋養たっぷりの卵を提供してくれるほか肉も美味で、現在でも食材として親しまれています。
雄鶏は時を告げる生き物としても大切にされてきました。
干支では「犬猿の仲」といわれる「猿」と「戌」の間に割り込み、仲を取り持つ平和の使者の役も努めてくれているようです。



わしゃグルメで 長生きじゃ!

晴天に自宅から和佐羅比山の鉄塔が見えるほどの視力に感謝しています。新聞などに目を通し、情報を得ることができます。今年もうまいものを食べ、時々ビールをたしなみ、家族との幸せな生活を過ごしたいです。



長生きの秘訣は晩酌!

過去に2人を海で救助したことが、これまでの長寿を与えられているような気がします。体を大切に、毎晩かかさず晩酌を楽しみたいです。(西松さん=右)

実は“社長”ねらってます

会社の社長になって若い人たちが集えるような場所を提供できる事業を起こしてみたいです。先シーズンから挑戦したファンスキーを今年も思いっきり楽しみたいです。(史都さん=左)

家族全員が健康でいて欲しい

家族全員が健康で、平凡に一年を過ごすことができれば幸せです。今までと変わらない生活を続けられることが、簡単なようで難しいことですからね。(久美子さん=右)

中学校生活をがんばります!

4月から中学生になります。苦手意識を克服し、英語と数学に興味を持って取り組めるようにしたいです。クラブ活動では、バレー部に入部しようか迷っています。先輩の良きアドバイスをお願いします!(千穂さん=左)



前田ツ子さん
(大正10年生まれ、前田小路)



金子久美子さん・千穂さん
(昭和44年、平成5年生まれ、玉川)

家族円満で幸せです

毎日のように商品の仕入れに出掛ける忙しい毎日を送っています。多くの人から支えられて生活していることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも自分に正直に生きたいです。家族が円満であることに幸せを感じています。(右)

**こんなことがありました
村の「酉年」主な出来事**

明治42年	4代目村長に岡本要吉氏が就任する。
大正10年	二戸区裁判所、木炭検査所の野田出張所が設置される。村内に水車約20台が普及する。
昭和8年	役場に電話を1台設置、野田郵便局で電話交換事務が始まる。この電話で三陸大津波の被害報告(死者8、負傷者7、流失家屋58)をする。
20年	野田村森林組合(川原文作組合長)が設立される。空襲で野田小学校の校舎が銃撃される。
32年	12代目村長に佐藤貞太郎氏が就任する。玉川橋が完成する。
44年	野田と玉川の漁協が合併し、野田村漁業協同組合(上川徳次郎組合長)となる。野田バイパスが完成する。
56年	国民宿舎えぼし荘に会議室が完成する。
平成5年	15代目村長に中川正勝氏が就任する。村のイメージキャラクター「のんちゃん」が誕生する。



北岡幸二さん
(昭和56年生まれ、前田小路)

**今まで以上の
責任を持って**

年男ということで、新春から身が引き締まる思いです。これまで以上に責任を持って仕事をしたいです。趣味では中学生時代に熱中した海釣りに挑戦します! 50cmを越える大物を釣り上げてみたいです。